

4. 数量調書

【2工区】

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 4:A-2+1.8m~B-3

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ75)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ75×5.0	21.0	105.000
		計	105.000

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(フレンメント)	φ75	2.530
		計 2.530

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チーズ(分岐)	φ100×φ75	0.310	1.0	0.310
			計	0.310

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフトシール仕切弁	φ75(開度計付)	0.780	1.0	0.780
			計	0.780

⑤土工

	延長(m)
土工断面4	108.6
	小計 108.6
	計 108.6

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	107.840 m ≒	107.8 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.780 m ≒	0.8 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	108.620 m ≒	108.6 m
(4) 管明示シート工	⑤	108.6 m	108.6 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面: 配管詳細図 4:B-4+8.1m~B-3-1+1.9m

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EF受口付)	φ100×5.0		
計			

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンソント)	φ100	0.760
		1.120
		0.300
		0.300
		1.120
		2.890
		0.260
		4.270
		0.800
		1.000
計		12.820

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)	
B-3、B-4	EF両受チース'	φ100×φ75	0.140	2.0	0.280
B-3-1	EF両受チース'	φ100×φ100	0.140	1.0	0.140
	EF両受ヘント'	φ100×45°	0.380	4.0	1.520
	PE挿し口付铸铁製T字管(GF)	φ100×φ75	0.790	1.0	0.790
計				2.730	

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)	
	PE挿し口付ソフトシール仕切弁	φ100(開度計付)	0.860	1.0	0.860
計				0.860	

⑤土工

	延長(m)
土工断面5	16.4
小計	16.4
計	16.4

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	15.550 m ㊦	15.6 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.860 m ㊦	0.9 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	16.410 m ㊦	16.4 m
(4) 管明示シート工	⑤	16.4 m	16.4 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 4:分岐B-3-1

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ100×5.0		
計			

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ100	0.950
		0.980
計		1.930

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チース(分岐)	φ100×φ100	0.300	1.0	0.300
計				0.300

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフツシル仕切弁	φ100(開度計付)	0.860	1.0	0.860
計				0.860

⑤土工

	延長(m)	
土工断面5	2.8	
小計		2.8
計		2.8

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	2.230 m ≒	2.2 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.860 m ≒	0.9 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	3.090 m ≒	3.1 m
(4) 管明示シート工	⑤	2.8 m	2.8 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 5:B-4~B-12+0.5m

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ75)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EF受口付)	φ75×5.0	21.0	105.000
計			105.000

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ75	3.500
		1.340
		2.620
		2.240
		0.740
計		10.440

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チズ(分岐)	φ100×75	0.310	1.0	0.310
EF両受ヘント	φ75×45°	0.380	4.0	1.520
計				1.830

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフツシル仕切弁	φ75(開度計付)	0.780	2.0	1.560
計				1.560

⑤土工

	延長(m)
土工断面3	9.0
小計	9.0
土工断面4	109.8
小計	109.8
計	118.8

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	117.270 m ㍻	117.3 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	1.560 m ㍻	1.6 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	118.830 m ㍻	118.8 m
(4) 管明示シート工	⑤	118.8 m	118.8 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 5:B-4~B-12

2) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ100×5.0		
計			

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ100	0.860
計		0.860

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
レデュース	φ100×φ75	0.400	2.0	0.800
EF両受チズ	φ100×φ100	0.140	2.0	0.280
計				1.080

B-11、B-12

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
計				

⑤土工

	延長(m)	
土工断面6	2.0	
小計		2.0
計		2.0

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	1.940 m ≒	1.9 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	m ≒	m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	1.940 m ≒	1.9 m
(4) 管明示シート工	⑤	2.0 m	2.0 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 5:分岐B-11

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EF受口付)	φ100×5.0		
計			

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ100	0.510
		0.820
		3.750
		1.860
		計 6.940

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チズ(分岐)	φ100×φ100	0.300	1.0	0.300
EF両受ヘント	φ100×45°	0.380	2.0	0.760
計				1.060

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
計				

⑤土工

	延長(m)
土工断面5	8.0
小計	8.0
計	8.0

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	8.000 m ㍻	8.0 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	m ㍻	m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	8.000 m ㍻	8.0 m
(4) 管明示シート工	⑤	8.0 m	8.0 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 5:分岐B-12

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ100×5.0	1.0	5.000
計			5.000

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ100	2.630
		1.000
計		3.630

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)	
B-12-1	EF両受チース'(分岐)	φ100×φ100	0.300	1.0	0.300
	EF両受チース'	φ100×φ100	0.140	1.0	0.140
計				0.440	

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)	
	PE挿し口付ソフツソール仕切弁	φ100(開度計付)	0.860	1.0	0.860
計				0.860	

⑤土工

	延長(m)
土工断面5	9.9
小計	9.9
計	9.9

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	9.070 m ≒	9.1 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.860 m ≒	0.9 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	9.930 m ≒	9.9 m
(4) 管明示シート工	⑤	9.9 m	9.9 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 5:分岐B-12-1

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ100)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ100×5.0		
計			

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(フレンメント)	φ100	1.350
		0.690
計		2.040

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チース(分岐)	φ100×φ100	0.300	1.0	0.300
計				0.300

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフツシル仕切弁	φ100(開度計付)	0.860	1.0	0.860
計				0.860

⑤土工

	延長(m)	
土工断面5	3.0	
小計		3.0
計		3.0

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	2.340 m ≒	2.3 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.860 m ≒	0.9 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	3.200 m ≒	3.2 m
(4) 管明示シート工	⑤	3.0 m	3.0 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面: 配管詳細図 6:B-12+0.5m~B-15+1.8m

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ75)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EF受口付)	φ75×5.0	16.0	80.000
計			80.000

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(ブレンメント)	φ75	0.900
		1.000
計		1.900

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
B-15 EF両受チズ	φ75×75	0.100	1.0	0.100
計				0.100

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフツシル仕切弁	φ75(開度計付)	0.780	2.0	1.560
計				1.560

⑤土工

	延長(m)	
土工断面4	83.5	
小計		83.5
計		83.5

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	82.000 m ≒	82.0 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	1.560 m ≒	1.6 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	83.560 m ≒	83.6 m
(4) 管明示シート工	⑤	83.5 m	83.5 m

水道配水用ポリエチレン管延長集計

対象図面:配管詳細図 6:分岐B-15

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ75)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EP受口付)	φ75×5.0		
		計	

②切管

	口径	延長(m)
HPPE(フレーション)	φ75	0.400
		0.400
		0.570
		計 1.370

③異形管(布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受チース(分岐)	φ75×75	0.250	1.0	0.250
			計	0.250

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
PE挿し口付ソフツール仕切弁	φ75(開度計付)	0.780	1.0	0.780
			計	0.780

⑤土工

	延長(m)
土工断面3	2.2
	小計 2.2
	計 2.2

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③	1.620 m ≒	1.6 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	④	0.780 m ≒	0.8 m
(3) 管明示テープ工	①+②+③+④	2.400 m ≒	2.4 m
(4) 管明示シート工	⑤	2.2 m	2.2 m

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量
<p>土工断面3</p> <p>市道 AS舗装(両切2回) d=0.6 φ75</p> <p>※GL-0.5mまで地盤改良層と推定</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		0.600
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	0.6×0.45	0.270
	管路掘削		m ³	0.6×0.29	0.174
	管路埋戻	再生砂	m ³	0.6×0.29-0.006	0.168
	管路埋戻	入替砕石 (RC-40)	m ³	0.6×0.35	0.210
	路盤工	RM-30 t=11cm	m ²		0.600
	AS舗装工(人力舗設)	粗粒度 t=40mm	m ²		0.600
	AS殻処理		m ³	0.6×0.05	0.030
	CO殻処理		m ³	0.6×0.45	0.270
	発生土処理	土砂	m ³	掘削	0.174
	(本復旧)				
	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		1.200
	管路掘削		m ³	0.6×0.01	0.006
	AS殻処理		m ³	0.6×0.04+0.6×0.05	0.054
	発生土処理	土砂	m ³		0.006
	不陸整正		m ²		1.200
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²		1.200
	※φ75断面積:0.090 ² ×3.14÷4≒0.006				

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量
<p>土工断面4</p> <p>市道 AS舗装(両切・片切) d=0.6 φ75</p> <p>※GL-0.5mまで地盤改良層と推定</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		0.600
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	0.6×0.45	0.270
	管路掘削		m ³	0.6×0.29	0.174
	管路埋戻	再生砂	m ³	0.6×0.29-0.006	0.168
	管路埋戻	入替砕石 (RC-40)	m ³	0.6×0.35	0.210
	路盤工	RM-30 t=11cm	m ²		0.600
	AS舗装工(人力舗設)	粗粒度 t=40mm	m ²		0.600
	AS殻処理		m ³	0.6×0.05	0.030
	CO殻処理		m ³	0.6×0.45	0.270
	発生土処理	土砂	m ³	掘削	0.174
	(本復旧)				
	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		1.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		1.000
	管路掘削		m ³	0.6×0.01	0.006
	AS殻処理		m ³	0.6×0.04+0.4×0.05	0.044
	発生土処理	土砂	m ³		0.006
	不陸整正		m ²		1.000
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²		1.000
	※φ75断面積:0.090 ² ×3.14÷4≒0.006				

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量
<p>既設管切断土工断面2</p> <p>市道 AS舗装(両切2回) d=0.6 φ100</p> <p>※GL-0.5mまで地盤改良層と推定</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		0.600
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	0.6×0.45	0.270
	管路掘削		m ³	0.6×0.33-0.013	0.185
	管路埋戻	再生砂	m ³	0.6×0.33-0.013	0.185
	管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m ³	0.6×0.35	0.210
	路盤工	RM-30 t=11cm	m ²		0.600
	AS舗装工(人力舗設)	粗粒度 t=40mm	m ²		0.600
	AS殻処理		m ³	0.6×0.05	0.030
	CO殻処理		m ³	0.6×0.45	0.270
	発生土処理	土砂	m ³	掘削	0.185
	(本復旧)				
	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		1.200
	管路掘削		m ³	0.6×0.01	0.006
	AS殻処理		m ³	0.6×0.04+0.6×0.05	0.054
	発生土処理	土砂	m ³		0.006
	不陸整正		m ²		1.200
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²		1.200
	※HPPE φ100断面積:0.130 ² ×3.14÷4≒0.013				

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1箇所当り数量
<p>既設仕切弁ボックス蓋撤去</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	0.5×4	2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²	0.5×0.5-0.049	0.201
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	(0.5×0.5-0.049)×0.1	0.020
	管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m ³	0.049×1.01	0.049
	路盤工	RM-30 t=10cm	m ²	0.5×0.5	0.250
	AS殻処理		m ³	(0.5×0.5-0.049)×0.05	0.010
	CO殻処理		m ³	(0.5×0.5-0.049)×0.1	0.020
	(本復旧)				
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²	0.5×0.5	0.250
	※φ250断面積:0.250 ² ×3.14÷4≒0.049				

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計 算 式	1箇所当り数量
<p style="text-align: center;">既設消火栓ボックス蓋撤去</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	0.7×4	2.800
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²	$0.7 \times 0.7 - 0.44 \times 0.33$	0.345
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	$(0.7 \times 0.7 - 0.44 \times 0.33) \times 0.1$	0.034
	管路埋戻	入替碎石 (RC-40)	m ³	$0.44 \times 0.33 \times 0.39$	0.057
	路盤工	RM-30 t=10cm	m ²	0.7×0.7	0.490
	AS殻処理		m ³	$(0.7 \times 0.7 - 0.44 \times 0.33) \times 0.05$	0.017
	CO殻処理		m ³	$(0.7 \times 0.7 - 0.44 \times 0.33) \times 0.1$	0.034
	(本復旧)				
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²	0.7×0.7	0.490

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面A</p> <p>市道 AS舗装(両切2回) d=0.6 φ 25以下</p> <p>※GL-0.5mまで地盤改良層と推定</p>	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000	
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²		0.600	
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	0.6×0.45		0.270
	管路掘削		m ³	0.6×0.23		0.138
	管路埋戻	再生砂	m ³	0.6×0.23		0.138
	管路埋戻	入替碎石 (RC-40)	m ³	0.6×0.35		0.210
	路盤工	RM-30 t=11cm	m ²			0.600
	AS舗装工(人力舗設)	粗粒度 t=40mm	m ²			0.600
	AS殻処理		m ³	0.6×0.05		0.030
	CO殻処理		m ³	0.6×0.45		0.270
	発生土処理	土砂	m ³	掘削		0.138
	(本復旧)					
	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m			2.000
	舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m ²			1.200
	管路掘削		m ³	0.6×0.01		0.006
	AS殻処理		m ³	$0.6 \times 0.04 + 0.6 \times 0.05$		0.054
	発生土処理	土砂	m ³			0.006
	不陸整正		m ²			1.200
	AS舗装工(人力舗設)	密粒度 t=50mm	m ²			1.200

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面B</p> <p>CO舗装(両切) d=0.6 φ 25以下</p>	舗装版切断工	CO版 15cm以下	m		2.000	
	構造物取壊し	無筋 機械	m ³	0.6×0.1		0.060
	管路掘削		m ³	0.6×0.63		0.378
	管路埋戻	再生砂	m ³	0.6×0.23		0.138
	管路埋戻	入替碎石 (RC-40)	m ³	0.6×0.3		0.180
	路盤工	RM-30 t=10cm	m ²			0.600
	CO殻処理		m ³	0.6×0.1		0.060
	発生土処理	土砂	m ³	掘削		0.378
	(本復旧)					
	CO舗装工	T=100(24-8-25(20))	m ³	0.6×0.1		0.060

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面C 未舗装 d=0.6 φ25以下</p>	管路掘削		m3	0.6×0.73	0.438	
	管路埋戻	再生砂	m3	0.6×0.23	0.138	
	管路埋戻	発生土	m3	0.6×0.5	0.300	
	発生土処理	土砂	m3	掘削ー埋戻/0.9	0.105	

算式根拠となる土工断面図	工種	形状寸法	単位	計算式	1m当り数量	
<p>土工断面D ブロック舗装 d=0.6</p>	ブロック舗装	撤去	m2		0.600	
	管路掘削		m3	0.6×0.67	0.402	
	管路埋戻	再生砂	m3	0.6×0.23	0.138	
	管路埋戻	入替碎石 (RC-40)	m3	0.6×0.31	0.186	
	路盤工	RM-30 t=10cm	m2		0.600	
	発生土処理	土砂	m3	掘削	0.402	
	ブロック舗装	再設置	m2		0.600	

交通誘導員の算出根拠

区分	種別	(延長)	(日進量)	(交通誘導員)	(計)
配水管 (φ75~100)	管路	347.8(m)	/ 27.0(m)	× 5.0(人)	= 65.0(人)
	カッター	736.4(m)	/ 400.0(m)	× 4.0(人)	= 8.0(人)
	カッター(本復旧)	410.5(m)	/ 400.0(m)	× 4.0(人)	= 8.0(人)
	舗装	370.6(m ²)	/ 200.0(m ²)	× 5.0(人)	= 10.0(人)
区分	種別	(給水戸数) (交通誘導員)			(計)
給水戸数		25	×	4.0(人)	100.0(人)

合計	191.0(人)
----	----------

(1) 1日当り施工延長・・・高知市配管設計要領2003.12より

施工延長

$$L = \ell / (a \times b) \quad [\text{m/日}]$$

配管 L = 27 [m/日]

a: 1.30 Σx=14点
 b: 1.00 φ50~100
 ℓ: 35 H=0.6

ア) 施工条件係数:a

施工条件	点数 Σx	a
良い	6点	0.70
やや良い	7~8点	0.85
普通	9~10点	1.00
やや悪い	11~12点	1.15
悪い	13点以上	1.30

イ) 呼び径係数:b

呼び径	b
φ50~100	1.00
φ150	1.15
φ200	1.30
φ250	1.50
φ300	1.80

ウ) 標準布設延長:ℓ

埋設深度	ℓ(m/日)
H=0.6	35
H=0.8	28
H=1.0	23
H=1.2	20
1.3m以上は別途	

施工条件x(中硬岩の場合は別途)

X	3点	2点	1点	採点
地下埋設物	多い	少ない	無	2
弁栓・曲管	多い	普通	少ない	2
道路幅員	狭い	普通	広い	2
道路規制	片側通行止め	全面通行止め	新設道路等	3
土質	軟岩または崩れやすい	多少崩れやすい	良い	3
地下水	多い	少ない	無	1
耐震切管	多い	普通	少ない	1
合計 Σx				14

交通誘導員配置図

